



熊本市益城町物領 2016年4月18日

熊本地震 炊き出し

日本は地震大国なのに、九州は安全と言われている。したが、未曾有の混乱と、家屋の倒壊、余震の恐怖で一変しました。東日本大震災の場合、宮城県の内陸部は大きな被害はありませんでしたが、熊本地震は全県に及んでいます。家の中は散乱し、二階建てのアパートなどが平屋になっており、瓦ははがれ、雨漏りで住める状態ではなくなっていました。余震のため家の中に

した。余震のため家の中にモノを取りに行くこともできません。

4月14日(木)午後9時26分、全国に熊本地震について速報が入ります。熊本県益城町でマグニチュード6.5。16日午前1時25分、マグニチュード7.3。阿蘇地方や大分県由布市でも電気、水道、ガスのライフラインが破壊されました。震災関連死20名を含める49人が死亡(「朝日新聞」2016年5月16日付)。損壊家屋は益城町が5400棟。九州全体で1万棟(「熊本日日新聞」2016年4月22日付)。

神戸国際交縁機構(以後「機構」)は4

月15日(金)に熊本県庁防災センターから最大被害地益城町の炊き出しを依頼されます。16日にメンバー募集、および食材購入、神戸新聞も告知。17日(日)深夜に9時間かけて現地入ります。道路は液状化、亀裂、寸断しています。10人が益城町愛児園でボランティア活動をはじめます。14日午後9時から現地情報を連絡くださった西尾竜子さん(東北ボランティア第25、26、36次)の甥も加わりました。

避難所生活の500人を対象に5回の炊き出し。被災者たちは豚汁、ダルカレー、野菜スープなどのために1時間以上列に並びました。ライフラインが途絶えている避難者にとって、温かい食事は初めてと喜ばれました。看護班2名が健康聞き取りを平行して行います。不眠不休で避難者の世話をしている石嶺昇園長、三嶋充宏事務局長、内村康成益城町学校教育委員会所長、消防団那須浩一氏、万喜英雄区長などの依頼に応えていきます。

大学生たちのボランティア活動に刺激されて、地元の高校生たちも手伝うようになりました。

避難所では、東日本大震災の教訓が活かされていません。隔離してしまう間仕切りのため、隣の家族との「おは



熊本県益城町 700食 2016年4月18日

よう」とかのあいさつがなくなってしまう、助け合いの一体感が消えてしまいました。仮設住宅を急ぐ余り、粗雑な造りの建て方になります。雨漏りによるカビ、隣の話し声、テレビの音量の苦情、大の字になって寝られないなど配慮されていません。とりわけハインディキャップの人達への思いやりある目配り、気配り、心配りが見当たしません。21年前の阪神・淡路大震災の教訓が活かされていません。

「専門家、自衛隊、お金があればできるわけではありません。それよりも家族、家、財を失った人と共にいること。被災地の現場では資格、経験を問いません。いつでも、だれでも、どこでもできる共生、共苦、苦縁の『活動(activity)』こそが今、必要です¹」

神戸では、大学生たちは自発的に街頭募金に繰り出しました。

第1次参加の村上裕隆君、大島健二郎君、三村修司君たちはゴールデ
ン・ウィークが終わると、再度現地入
り。東北ボランティアと二手に分かれ
て、第四次、第五次と続きます。

1 「キリスト教とボランティア道——水平の〈運動〉から、垂直の〈活動〉に——」（岩村義雄 宗援連 東京大学 2016年 21頁）。



各報道記事



ヤマザキ

世界のパン ヤマザキ

株式会社 チュチュアンナ
代表取締役社長

上田 利昭

tutu,annaTM

MiYOSHİ

ミヨシ石鹼株式会社

NY 130-0021

東京都墨田区緑3-8-12

TEL 03-3634-1341



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



路上生活者に提供する楠元班長(左から2番目) 2015年12月2日

神戸での炊き出し

楠元 留美子(第36次)

1・17の希望の灯やルミナリエの舞台でもある、神戸三宮―市役所と隣接する東遊園地での炊き出しも2年が過ぎました。炊き出しを神戸でもしようと、東北ボランティア参加者から声があがった時は、ほとんど何も考えず、引き受けていました。仕事をもつ主婦でありながら、後で考えると余りにも軽率だったかな、あの時に我が身の生活を優先していたらとてもできないボランティアであったという思いがありました。

調理場を早く提供下さっている大嶋善直牧師はじめ、神戸フィラデルフィア教会のご協力ご理解に感謝致します。そして、釜ヶ崎の僧侶川浪剛氏も最初食材を提供し、共に東北ボランティアへ行かれた機構の理事である五百井正浩(玉龍寺)住職、後藤由美子(光円寺第20次僧侶、豊原正尚(西福寺)副住職、藤丸秀浄(法専寺)住職、横山豊有(無障金剛院)住職らが米などを支えてくれています。フードバンク関西からの定期的な支援もあり、機構が神戸市西区友清で取り組んでいる「耕支縁」の新鮮な野菜もあり、継続できています。

いつも笑顔でJR朝霧駅で合流する村上裕隆事務局長の運転で向かいます。陽光きらめく瀬戸内、時に、風雨も立っ明石海峡を車窓から見ながら、一時間

程かけて調理場へ通います。

阪神・淡路大震災でのおにぎり作り、阿武隈川氾濫時の家屋の片付け、そして機構の東北ボランティアに参加した2012年2月の石巻行き、ほんの微力細やかなボランティアしか経験のない私が炊き出しに関わって、今までの生活内では知り得なかった事など沢山学びました。

大災害の時に放映される炊き出しが、1995年以降、神戸では週3回、キリスト教会などが持ち回りで実施している事には頭が下がります。機構の炊き出しは新生田川共生会の有川純子夫人、伊吹三樹雄さんから2014年にバトンが渡されました。

私たち機構が仕える東遊園地では、いつでもどんな天候や諸事情で遅れても待つていて下さる方が居ます。機構以外の炊き出しには決して並ばず、私たちの木曜日の炊き出しだけを楽しみにして下さっている路上生活者の方々がおられます。

始めた当初、岩村代表から食べることに休みは有りませんから、盆正月クリスマスも提供させて頂いたきます、との言葉によって使命感の大きさを感しました。さらにボランティアに参加した中から自発的に集まったメンバーに、機構理事の本田哲郎司祭は説き勧めました。「続けること」も重く響きました。

忘れることのない出来事もあります。2014年12月25日に、野宿者の中に誕生日の方がいて、岩村カヨ子夫人も交えてみんなで寒風の東遊園地で、ハッピーバースデイトゥーユーと手拍子を打ちながら歌った光景は今でもくっきり残る場面です。その翌週は、東遊園地は小雪舞う元旦でもみなさん待っていてくださいました。

神戸市のカン拾い禁止条例が発令されました。空きカン回収での生活が困難になり、生活保護受給者になった方々との別れもありました。なぜなら私たちは生活保護に毎月12万円を支給され、ちゃんと家に住んでいる方々を対象にしているからです。

毎回、顔を合わせ、親しくなるとわかってくることがあります。たとえ住む家、家族住



炊き出しを共食するなかま 2016年3月31日

「良かったです」とキチンと挨拶してくださる律儀な態度には、何も大したことができていないのにと気恥ずかしくなります。ある若い路上生活者のひとは目利きで生計を立て、荒ゴミの中から高く売れるモノを見いだしている方もいます。炊き出しから糧を得なくても、生活力がある人たちもいます。そんな路上生活者から「こんにちわ」と親しく声をかけていただく、なんとも知れずジワジワと嬉しさが込み上げてきます。同じ仲間として受け入れてくださっている証しです。

「継続は力なり」とよく耳にしますが、炊き出しの献立決定、調理、提供に責任を委ねられている私にとり、そのとおりだなと思います。限られた食材で、どういう組み合わせで味付けで、どう調理すれば良いか？自宅からJR朝霧駅、調理をする教会の2階に行くまでの悩みであり楽しみでもあります。小さくされた人々と共生していく喜び、充実感、達成感があることを感謝しています。

1 耕支縁神戸国際支縁機構「関連項目」ホームページ参照。
2 「キリスト教とボランティア道」水平の(運動から、垂直の(活動)に」(岩村義雄 宗援連 東京大学 2016年11-12頁)。
3 本田哲郎講座「神戸国際支縁機構」講座「ホームページ参照。神戸市カン条例」について(神戸国際支縁機構「関連項目」ホームページ参照)

法律相談初回無料。
お気軽にご相談下さい。

宮永法律事務所

みやながたかし まつたやすお
弁護士 宮永亮史 弁護士 松田康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14
☎0120-997-181
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

特定非営利活動法人

みもぞ

TEL 078-262-0460

医療・保健介護・
福祉・教育に関する事業
共生社会の実現

SERVING MANKIND

Humanity First

「ヒューマニティ・ファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会

夢に近づく
夢を産み出す...

KINSAN

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019



神戸新聞 2016年(平成28年)3月17日 木曜日



現地の建築家である南俊治氏

被災児施設建設協力を フィジーのサイクロン被害

神戸で現地報告会 募金呼びかけ

フィジーのサイクロン被害。被災地は、フィジーの東部の半島にあり、人口は約100万人。被災地は、フィジーの東部の半島にあり、人口は約100万人。被災地は、フィジーの東部の半島にあり、人口は約100万人。

「神戸新聞」 2016年3月17日付

南十字星の輝きに、昼間はフィッシュ型の児童館が光る地帯になることを祈っています。

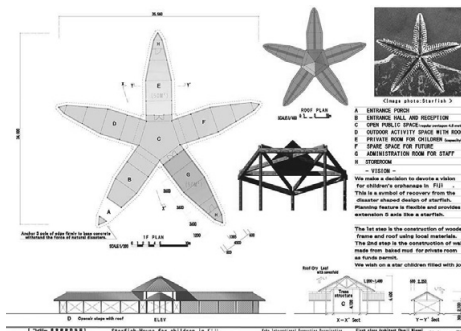
スターフィッシュ・ハウスは近代的なビルではなく、現地に自生するやしなどの葉を屋根に用いるため、特別な工法がいりません。現地の人々に伝統的な素材が溶け込みます。南太平洋の美しい自然風景にふさわしいデザインです。日本ではブルーのヒトデを見かけませんが、バヌアツやフィジーにはたくさん生息しています。自然災害を被ったメラネシアに散在する島々の上空を飛ぶ飛行機から見ると、ヒトデ型の建物は宝石のようです。調和もしています。

将来を担う子どもたちが成長する居場所を日本のボランティア、建築家、宗教家たちによってつくります。

オセアニアと日本を結び合わせる象徴になるでしょう。

フィジー

南 俊治氏[南俊治建築研究所]



スターフィッシュ・ハウス 南俊治設計



結希ちゃん(10ヵ月)の笑顔

東北ボランティアが縁で 結ばれたカップル

和田涼司さん(第27次東北ボランティア 2012年6月24〜27日)は奥さま寛子さんと出合い、ロマンスが生まれしました。父親になった和田さんのコメント。

『石巻のボランティアに参加させていただきました。復興のお手伝いをさせていただきました。復興と色んな発見や、普段気にもとめていない人の絆を感じることも出来ます。その絆で知り合い、新しい命を授かりました。娘とボランティア活動で共に学ぶことが出来るように頑張っていきたいです。』

ネパール

孤児のための施設建設

ネパールのCCH (Child Care Home) 子どもケアホーム)の建設に向けてクラウドファンディング※を始めました。みなさまのご協力を得て、2015年4月25日発生の地震被害から復興していない孤児たちのために機構は支援しています。

※群衆(Crowd)から資金集め(funding)ができる

ज्यापु महागुथिं “मचा सुसा: छँ” दयेकेत पला: ल्हवनीगु

बै (फ्रीगु स्वनिग): त.भूखाय् ब्याया: पिडित जूथिं मचातयत् सेवा यायेगु तातुना: ज्यापु महागुथि व जापानया Cobe International Supporting Organization (COBE) या मका: खसालय् मचा सुसा: छँ Child Care Home (CCH) पलिस्था याइगु जूगु दु।



भिगः ज्यापु महागुथि केन्द्रिय सचिवालय व कोवे (COBE) या नायः थकजय् धकगचब दथुइ जूगु मुंन्यां ख खँ खःछीगु ज्या जूगु छः। ख परियोजनाया निति ज्यापु महागुथि जग्गा चू लाकेगु निति पला: न्याकीगु व भवन छँ धः। केगु निति माःगु आर्थिक खहाली न्हइचम पाखें याइगु जूगु दु।

ख ज्याभवः ताः लाकेया निति नायः राजभाइ जकःमिया नायोसुइ छ्गु खसाःखलः नं नीस्वनेज्या जूगु दु। ख खसाःखलकय् न्वकु वेखानारायण, छयाज्जे न्ह्छेकाजि महर्जन, दाँभरि मचाराजा महर्जन ज्यादिगु दुसा दुजलय् कृष्ण बहादुर धनु, विनोद महर्जन, सरिता महर्जन, हरि महर्जन व हरिबहादुर महर्जन च्वनादिगु दु।

CCHに期待する現地新聞 2015年9月4日付

連載「むかし、むかし」(その八)

阿部 捷一

大昔の津波の状況は、どんなものであったのだろうか。(ウィキペディア百科事典より)

紀元前4000年ごろ、三陸地方で巨大津波の跡(宮城県気仙沼市大谷海岸海食崖の調査)。紀元前1500年ごろ、三陸地方で巨大津波の跡(大谷海岸の海食崖の調査)。紀元前800年ごろ、仙台付近で巨大津波の被害(紀元前1000年ごろの津波と同一の可能性)。紀元前1000年ごろ(仙台付近で巨大津波の被害、貞観津波の数倍とも推測される)。

炭素年代での時期の特定が難しいものもあるという。いずれにせよ古代から、島国の宿命といえるのか、日本の海岸は津波に痛めつけられてきた。2011年3月の津波から見ても古代の津波は、図り知れないほど大きい。(次回へつづく)



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田商会

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話：0798-38-7560

FAX：0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

連載「田・山・湾の復活」(その十一)

「孤食」から「共食」へ 岩村 義雄

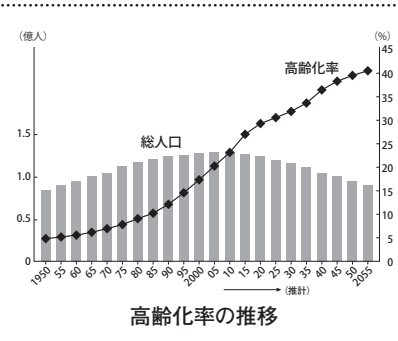
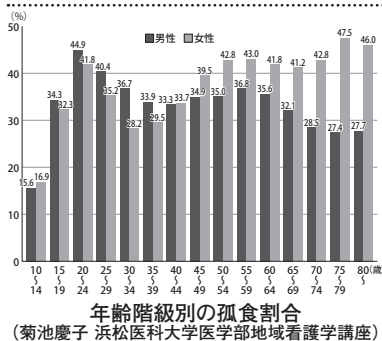
「孤食」の時代と言われている。少子高齢化、人口減少、第一次産業の衰退、過疎化の進む限界集落が増えていいます。被災地だけでなく、各地方のシャッター通りは何を物語っているのでしょうか。日本の生活水準は諸外国と比較して裕福に見えます。高速道路の行き届いた整備、時間に正確な鉄道、ウォッシュレットの普及など、清潔・便利・快適さは海外からの旅行者にも豊かさを印象づけます。見た目は確かに立派です。オリンピック、原発再稼働、リニアなどが夢をもたらしと民衆は刷り込まれています。たとえば、リニアは必要でしょうか。区間の86%がトンネル。2004年、上越新幹線を脱線させた地震M6.8規模が起きたらリニアは大惨事になります。大切なものを忘れて、ひたすら走り続けているマンモス象みたいなんです。

経済的に豊かな生活が保障されると額に汗して働きます。耐震構造を誇る高層ビルに住まう人々の生活は豊かでしょうか。高齢化社会にあつてしあわせとは何かを考えねばなりません。国連の定義として高齢化率が7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」と言います。全人口に対する65歳以上の人口（高齢化率）で判断するならば、日本はもはや「高齢化社会」「高齢社会」ではありません。「超高齢社会」です⁴⁰。

宮城県石巻市渡波に定期的に訪問させていただいています。63回目です。自然との共生による農・林・漁の復興に仕えています。画期的な事業、運動

実績は何もありません。しかし、神戸から向かう若者たちの価値観が変わりました。「ボランティアは、能率・効率など抜きの人々との触れ合いです。痛めつけられた人々との出会い」です。「被災者を通して垂直の『活動』が『契機』となり、続けて現場に行く『関心』が芽生え、5年を経ても継続する『価値』を見いだします⁴¹」。寄り添う若者たちを待っている被災地の人たちがいます。若者たちは孤独死、孤立死が起きる震災復興の遅さ、停止、あきらめにがく然とします。知らんふりをして通り過ぎることはできません。石巻市で「あがつていきつちや」とお茶をすすめられる「共食」にはぬくもりがあります。都会の豪華、衛生的、洗練された接客マナーに支払う高額な料金では得られない価値があります。石巻の人と東北弁で話し合っても、ほとんど若者は意味がわかっていません。しかし、わかることがあります。「いる」「共にいる」「共に食べる」という言葉ではない結びつきがそこにはあることを。

欲しいモノがすぐに手に入る、近場で楽しめる娯楽設備、お金さえ出せば味覚、視覚、聴覚などを満足させることができる都会には裏の顔があります。アリの地獄の格差、心の病、差別によるストレスが膿を出し、悪臭を放っています。一握りの権力者、富裕者、特権をもつ階層だけが楽しむ利権的な享楽があります。コマースを通して、人々は羨望のまなざしを抱くように絶えず仕向けられています。テレビは視聴者抜きに完結して放映します。スタジオ出演者の顔だけが流れる「小窓」は一種の同調圧力です。「官尊民卑⁴²」の報道こそマインドコントロールの元凶です。つまりクリティックができないように従順に飼い慣らされています。お茶の間の番組から流される防腐剤入りのおいしくない高笑いを聞きながら、孤独に



食事をする時代は不幸です⁴³。「共食」の世に変革しましょう。

40 内閣府2015年版高齢社会白書 65歳以上の高齢者人口は過去最高の3300万人(前年3190万人)。高齢化率が26%に上昇。2060年には、25人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上。

41 「クリスチャントゥデイ」(坂本直子 2016年5月6日付)。
民意を偽造する請負人たち。「テレビはなぜおかしな人々のか」(金平茂紀 高文研2013年37頁)

42 孤食 日本農業新聞「農ネット」に「孤食化」進む子どもの食事 朝食―中学生71%、高校生69%、小学生60% (2014年1月18日付)。
夕食で「孤食」があると答えた割合は、中学生が最も高く55%、次いで高校生が50%、小学生(35%)、未就学児(12%)となった。朝食 夕食を一人で食べる中学生が多い。

43 共同通信…高齢者の孤食にうつる危険 独居男性は2.7倍(2015年10月27日付)

(一)神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

●被災地への支援物資もお願いします。

●年会費をお願いします。

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。
事務局長 本田 寿久

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,000円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

●郵便振替 口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

●三菱東京UFJ銀行
462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず『国名』と『地域』を書き添えてください。

編集後記 タコになろう

春になり、二人の女性が神戸市西区の耕支縁に加わるようになりました。東遊園地(神戸市役所隣)で炊き出しをするのに用いる野菜づくりに関心をもたれたからです。タコ(「他己」)の精神が機構の特徴です。自然豊かな神戸市西区友清の土にクワを入れ、種を蒔き、成長を見届ける活動は、自然を征服するのではなく、共生していく感謝の気持ちを抱きながらするので楽しいです。雑草は農薬で死んだ土をよみがえらせます。宮城県石巻市でもヨシの生育地には雑草は育ちません。雑草が育たない健全な田畑を機構は岸本豊(第11、19次、丹波水害)さんと共に目指しています。西区友清の無農薬、有機農産物は炊き出しにも喜ばれています。 村上 裕隆

救援金、維持会費ご協力感谢您します。(敬称略)

2016年1月16日～4月23日

●救援金協力者 篠竹中工務店、清洲山王宮日神社、保田薫、日本基督教団神戸栄光教会、青活祭フェスティバル、本田哲郎、阪本哲紀、豊原大成[全国仏教会前理事長]、平野昌司、笠井くみ子、辻良雄、島内糸夫、平山武秀&博子、岡崎 孝&和美、井上英士&眞貴子、宮氏道夫、新免貢、酒井彰&久美子、新井眞由美、日井佳代子、坂本好也、小畑俊子、森本修三、川井浩三、兵頭晴喜、観音寺、松岡直子、鍋島隆、小さくされた人々のための福音講座(3)、宮坂信章、井上加代子、小勝とも子、武智裕、池永タケコ、目黒敬、ゲーベルひでみ、岡本玲子、金厚子、水垣渉、春名純人、藤本英樹(3)、湊乃莉子、西上千米子、塩屋キリスト教会、中島信光、神戸国際キリスト教会(2)、岩村義雄(2)、竹内こずえ、野崎和子、村上裕隆、沖繩バプテスト連盟ルア教会、平林久子、若下喜恵子、中村和子、高橋優子、竹内喜子、川端勝(2)、櫻井由里子、大輪佑美、万石浦幼稚園、北川禮子、磯辺基博、高橋真由美、間宮志のぶ、白瀬小一郎&悦子(2)、後藤由美子、穴戸紀彦、重垂水ルーテル教会、サカイキキ、モバジャー・ザヒード、永野由子、村田充八、北村徹(2)、山本桂、日本ナザレン教団神戸野野教会、吉持志保、池田裕子、古川和子、都倉久子、石川満澄&久子(2)、木村製治、中山圭子、本田すみ代、本田寿久、庄司慈明、増田久美子、千田豊穂(宮城県石巻市光蔵寺住職)、鄭惠姫、上河規江、松岡泰夫、小勝とも子、岸本豊、金平錦、鬼頭摩文、岩村カヨ子(2)、宮永法律事務所、関裕之、近藤剛、渋谷めぐ実、原浩司、速水順一郎、オリーブの木キリスト教会(2)、ウスキケンジ、住友正幹、野野子、古川直子、櫻井由里子、皆木祐介、山本智也、阿部捷一、太井裕子、滝井留津子、日本アハマディア・ムスリム協会、毛藤智夫、徳丸勇二、星野尚子、イトウヤスコ、オノギナメ、ヤマモトセン、神部京子、椎野左都子、阿部正紀、岩田敬子、吉俣正光、みんなで考える9条・明舞の会、赤坂さちこ、酒巻美和子、浦野稔、五味明子、菊池則子、栗山憲、高橋恵理子、沖菜穂子、三橋理江子、小久保敬喜、大西晃、出野奈々&華香、鈴木多恵子、賀内寛太郎、千葉幸一、白承豪

計1,627,912円

●街頭募金 4万4,692円(責任者 森本拳士朗)
西福寺からいろいろなもの、杉山紀之から自転車等、櫻井由里子、山西由子、橋本和代、岩田敬子、創庫生活館島村和典から熊本ボランティアへの支援物資も感謝。